

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
10	笠井 浩（20）	<p>1. 富士市の飲食店等、人の集まる場所に対する新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助制度の創設について</p> <p>9月6日現在、富士市内の飲食店で2つのクラスターが発生した。</p> <p>全国的にも飲食店をはじめとする多くの人が利用する場所でのクラスター発生が相次ぎ、こうした場所での感染拡大防止対策が急務であると感じる。</p> <p>特に、理美容店、マッサージ店、クリーニング店など、どうしても行かなければならない場所は、市民が安心して通える場所でなければならない。</p> <p>飲食店は、プロの料理人が作る美味しい料理を味わったり、仲間と親睦を深める大切な場所であり、こうした場所は、スクリーンやフェースガード、アルコール消毒等、新型コロナウイルス感染防止対策がしっかりと行われ、安心して過ごせる場所でなければならない。</p> <p>富士市では、市が示す感染症対策を実施していることを申請した事業者に、店頭には張るステッカーやのぼり旗を配布する富士市新型コロナウイルス感染症対策宣言事業を始めた。</p> <p>国では、Go To Eatキャンペーン事業を展開しようとしている。</p> <p>こうした小規模店舗にまで手が行き届く経済対策は効果的に進めなければならないと考え、以下質問する。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策宣言事業の対象となる店舗に、新型コロナウイルス感染防止対策グッズのあっせんをすべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に対する補助制度を設けるべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 補聴器購入に対する補助制度の創設について</p> <p>現在、本市の補聴器購入に対する補助金は、両耳の聴力レベルが70デシベル以上で、障害者手帳を交付された場合、補聴器の購入費用が支給されるというものである。</p> <p>しかし、この制度では器具が指定されており、症状に合う方ばかりではなく、うまく聞こえない方は、あきらめて装着をやめてしまう方もいるようである。</p> <p>実際に補聴器が活用できるようになるには、症状に合った補聴器を購入し、何回も調整を繰り返さなければならない。長い方では半年かけて調整し、やっと使えるようになった方もいる。</p> <p>こうした手間暇のかかる機器であるため価格も高価で、調整機能の高いものは片方で20万円前後、さらに機能の高いものは片方で50万円するものもある。</p> <p>障害者総合支援法で指定されている器具は、数万円から高くても15万円なので、機能の違いは明らかである。</p> <p>また、障害者総合支援法の基準となっている両耳の聴力レ</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
10	笠井 浩（20）	<p>ベル70デシベル以上というのは、40センチメートル以上の距離で発声された会話を理解し得ないものであり、このレベルになってしまっただけでは補聴器をつけても活用できるところまで行きつかない。</p> <p>補聴器をつけて活用できるのは、40デシベルぐらいから使い始めないと効果が得られないというのが実情である。</p> <p>2018年に一般社団法人日本補聴器工業会が、公益社団法人テクノエイド協会の後援と欧州補聴器工業会の協力を得て、1万3710人を対象に行ったアンケートによると、15歳から44歳では10.2%、45歳から54歳では7%、55歳から64歳では8.9%、65歳から74歳では17.6%、75歳以上では39.2%の人が聞こえに不安を抱えていることが分かる。</p> <p>これを富士市の年齢別人口（令和2年7月1日現在）に当てはめると、15歳から44歳までに8250人、45歳から54歳に2704人、55歳から64歳に2840人、65歳から74歳に6040人、75歳以上に1万3975人、合わせて3万3809人の対象者がいることになる。</p> <p>また、難聴者の14.4%が補聴器を所有していて、そのうちの45%が両耳装用を所有している。富士市の人口に当てはめると4868人が所有しているということになる。</p> <p>さきに述べた、早い時期から装着し始めなければ効果が薄いということを考慮し、15歳から65歳くらいまでに装着しなければならぬと考えると、対象者は1万3794人ほどと考えられ、既に装着している方は1986人ということになる。</p> <p>装着していない方のほとんどは、補聴器はかっこ悪い、聞き直せば会話はできる（聞こえると思っ込んでいる）、まだ若い、高価すぎるなどの理由で装着していないようだが、聞こえがさらに悪くなると人と会うのがおっくうになったり、医師との会話がうまくいかないために通院をためらったりした結果、鬱や認知症に発展するケースもあるので、できるだけ早期に補聴器を装着するよう、働きかけるべきだと考え、以下質問する。</p> <p>(1) 難聴の兆候を広く市民に知らせ、医療機関の受診を促すべきだと思うがいかがか。</p> <p>(2) 補聴器を早期に装着するために、富士市独自の補助制度を創設すべきと考えるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長